

## 令和元年度和歌山県統計グラフコンクール審査講評

令和元年度和歌山県統計グラフコンクールにおいて受賞されました皆様方、おめでとうございます。県下より各部門において合計 83 点(127 名)の作品が応募されました。

その作品を、テーマの選択、データ理解、統計グラフの表現技術、正確性、要件の充足状況、全体のまとめ方に重点をおいて審査しました。

その結果、特選 6 点、入選 8 点、佳作 10 点、合計 24 点を入賞作品として決定しました。

### 第 1 部 小学校 1・2 年生の作品

第 1 部の作品からは、特選 1 点、入選 1 点、佳作 3 点の合計 5 点が入賞しました。

「かきごおり だいにんき しらべ!」は、かき氷の一番人気の味について調べた楽しい作品です。「小さい子」、「小学生」、「中高生」、「大人」に分けて調べ、比べた点も良いですね。

「IC カード つかってる?」では、自分が普段使っている IC カードの利用について、駅の改札で大勢の人に聞き取り調査をし、グラフを使って結果をわかりやすくまとめることができました。

「あさがお いっぱい さいたよ」、「トランプ なにができるかな?」、「にわにいるかえる〜かえるのかずをしらべたよ〜」は、「あさがお」、「トランプ」、「かえる」という身近なテーマについて、観察などにより日数や時間をかけて調べた結果を丁寧にまとめることができました。それぞれのテーマについて、楽しく取り組んでいる様子が伝わってきました。

### 第 2 部 小学校 3・4 年生の作品

第 2 部の作品の中から、特選 1 点、入選 2 点、佳作 3 点の合計 6 点が入賞しました。

「りっぱに育ったよカブトムシ〜 1 1 このたまごから〜」は、カブトムシの成長過程における体重の変化などについて、約 1 年間かけて調べ、絵やグラフを使って分かりやすくまとめています。毎日こつこつと観察した結果として、秋から冬にかけて体重が大きく増えるという発見もありましたね。

「ジャンボタニシをおびきよせる食べ物は何ですか!」は、タニシが好む食べ物について正午と夕刻の 2 回に分けて調査した作品です。分かったことを棒グラフと円グラフを使い、ひと目で結果が分かる作品になっています。台紙とグラフの色の組み合わせも効果的です。

「地震の時どうする?」は、地震への備えについて、アンケート調査した結果を、項目ごとに絵や色を工夫して分かりやすく絵グラフ・棒グラフなどを使って表すことができました。

「あつまれ本好き!」、「ぼくの家にあるもの どこからきたのか調べてみた」、「和歌山駅から半径 1 km

みまんの公園」では、自分の生活の中で興味を持ったことについて、アンケート調査や実地調査などを行い、そのデータが見て分かりやすくなるようにグラフに表すことができていました。どの作品もそれぞれグラフの特徴を生かされていました。

### 第3部 小学校5・6年生の作品

第3部の作品の中から、特選1点、入選2点、佳作1点の合計4点が入賞しました。

「みんなで考えよう!!食品ロスについて」は、現代的課題について、順序よく調査し、それを根拠に結論を導き出している自分の分析と提案性のある作品です。グラフや台紙の色使いも鮮やかで分かりやすくまとめられています。

「働き方改革」は、時事的な観点で関心の高いテーマを選び、引用したデータと実際に行った聞き取り調査について、その結果を丁寧にまとめられています。棒グラフ、円グラフを上手に使い分けている点がとても良い作品です。

「線対称／点対称な国旗」では、国旗を折り曲げたり、回転させたりしてみると、線対称や点対称になっているというひらめきから一つ一つの国旗について調べた楽しい作品です。

棒グラフと円グラフを効果的に使いまとめられています。

「果実王国和歌山県」は、和歌山県の果実の産出額などについて、グラフや吹き出しを使い一目で分かるようにまとめられた作品です。農業産出額を全国と比較しているところもいいですね。

### 第4部 中学生の作品

第4部の作品から、特選1点、入選2点、佳作2点の合計5点が入賞しました。

「ねんりんピック知ってる？」は、今年度和歌山県で開催されるねんりんピックを契機に、運動実施率や平均寿命など、それぞれの項目について、年齢や男女別に棒グラフや円グラフ、表の特性を活かし、グラフの色彩も併せて、効果的に丁寧にまとめている作品です。

「今こそ必要!?コミュニケーション能力」は、収集したデータを棒グラフ・円グラフに表し、文字や絵も効果的に使い、インパクトの強い作品です。また自分の考えや克服のための提案がまとめられている作品です。

「一番記憶できる方法ってなんやねん？」は、「学習したことを記憶する方法」について、聞き取りや実験を通して導き出した結果をグラフ化しています。中学生にとって一番身近な「学習方法」をテーマにした興味のある作品です。

「不足になりがち?カルシウム」、「太陽光で省エネ暮らし」は、参考資料や実際に観察して得られたデータを、棒グラフ、円グラフなどいろいろなグラフを使うことによって、見て分かりやすく、とても美しくまとめることができました。

## 第5部 高校生の作品

第5部の作品から、特選1点が入賞しました。

「我が校のファッション事情」は、テーマの設定が興味深く、自分で多くの数を調査し、分かりやすいグラフ構成と鮮やかな配色で効果的に表現されています。また、調査結果を整理し、自分の気づきも考察としてまとめられています。

### パソコン統計グラフの部

パソコン統計グラフの部からは、特選1点、入選1点、佳作1点の合計3点が入賞しました。

「僕と私のおこづかい大作戦！」は、子供にとって大きなテーマである「おこづかい」について、「誰からもらうか」、「いくらもらうか」、「どんなことに使うか」などのアンケート結果をグラフや絵、吹き出しなどを用い、工夫して表すことができました。

「和歌山が1位!?危険!熱中症」は、和歌山県が10万人当たりの熱中症救急搬送者数が全国第一位であることに注目し、その数の推移や原因について調べたことを地図やグラフを用いて分析された作品です。熱中症予防やご老人を気遣う意見も添えられています。

「和歌山なんでも1位」は、和歌山県の特産物の学習を契機に、収穫量全国一位となっている農作物について調べたことをグラフや画像を用いて分かりやすくまとめた作品です。作品作りを通して、和歌山を誇りに思う気持ちをまとめて表現されています。

以上、部門ごとに入賞作品を中心に感想を書かせていただきました。多数の応募ありがとうございました。

これからも、身近な問題、社会・経済・環境問題など、自分が興味・関心を持ったことや課題意識を持ったことについて、調査や観察などを行い、集めたデータを分類、集計、グラフ化し、表現することや分析することの楽しさを体験し、作品作りに励んでください。

次回も多数のご応募を期待しています。